1補助金の概要

補助金名称	協働事業提案制度負担金										
補助金の性格	団体への補	助(事業費	補助)				始期	H2	2	終期	_
予 算 事 業 名	協働のまち	づくり推進費	į				(事業コー)	新/旧)		111101/	011205
所 管 部 署	市民生活 部 市民活動 課 市民			市民活	活動 係 電話番号 内線3514			湶3514			
交付先(団体,個人等)	審査選考を	経て提案事	業が採択さ	れた旭川市	内で市民活	動を行ってし	いる団体				
交付目的	(対象) 誰,何に対	して	地域, 市民								
נים ם ניו צ	(意図) どういう状態	まにしたい									ン, より市民 いまちづくりを
対象事業等の内容	〇具体的な	自らが参加 効果や成果 で実施する。	が期待でき	,市民サート	ごスの向上フ						
積算方法	率100%)	7までは市民 127までは行									范囲内で負担 0%)
	① 市民の企画提案による協働のまちづくり事業採択事業数 単位:事業 ② 単位:										
事業量指標と過去5年間 の実績	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H	H25	H26	H27
の夫棋	7	6	7	8	7						
h = 11-1-1-1-1	① 市民と1	う政との協働	事業数		単位:事業	2	•	•			単位:
成果指標と過去5年間の	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	ŀ	⊣ 25	H26	H27
実績	113	135	138	150	156						

2収支状況等 単位:千円

24X	\times 1	下况寺					単位:十円
			平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
		前年度繰越					
補	収	市補助金	2,287	2,933	2,912	2,700	3,000
助	入	団体自己負担	3,199	6,186	714	1,365	2,994
象	内						
事	訳						
補助対象事業等		その他					
の	収入	合計	5,486	9,119	3,626	4,065	5,994
収.	市補	助率(%)	41.7%	32.2%	80.3%	66.4%	50.1%
支状	支出	合計	5,486	9,119	3,626	4,065	5,994
況		うち食糧費,交際費	3	2	41	26	23
	次年	度繰越					
	一般	財源	2,287	2,933	2,912	2,700	3,000
	特定	財源					
市	人	正職員 人工	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
負担額	、 件 費	金額	5,141	5,136	5,162	5,028	4,985
額	費	臨時•嘱託					
	その	他事務費					
	合計		7,428	8,069	8,074	7,728	7,985
受益	主対	象者数	350,511	349,332	347,799	345,917	343,728
補助金単位コスト(単位:円) 適格性		単位コスト(単位:円)	21	23	23	22	23
			◆会計処理が適正 ◆事業	美内容等と補助目的と整合	性有 ◇決算における繰越	(剰余金)が補助額から	判断し, 妥当
			会計処理については, 当 を ている。	刃事業計画に基づき適正に	「処理されている。負担金3	交付決定額に対して剰余金	か生じた場合は戻入し
			₽ 04 ₽ ₽ 07 ₽ ₽				

3個	⅓別項目に対する░	半価	
	項目	チェック項目 ー	→ 評価
		◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	│□ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1) 对象社員	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	■ 概ね合致する
		◆ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
1		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
11112	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◆ 上記以外	■ 合致しない
助金交付		◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
準と	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(' / 50 = 0 / / / / /		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
の適合性			ていない
合			■ 奨励目的補助だが、終期を設定
性			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◆ 上記以外	□ 合致しない
	(XIII K)Z/	◆ 実績報告時. 支出証拠書類提出有	□ 合致する
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
	書類の添付	◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている	■ 公益性が高い
04	公益性	▼不行正多剱の市氏に直接・间接的に効果が行されたつている ◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化、自立化の余地がない	■ 公無任為局は
27	2年1主		- 0 4 4 18 - 1 1 - 5 4 1 .
		◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
		◇設定した事業量指標が上向いている ◆廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
31	必要性	◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◇厳しい財政状況の中、他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
			- V = 4 18-1 1 1 - 1 4 1 1
		◇上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		◆設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
4亥	力果	◇対象者が増加するなど,時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
		◇上記以外	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記	- ピチェック項目以外で評価すべき項目が
		あれば、記載し説明すること。	
	W	(1)対象経費:食糧費について、外部講師謝礼や協力者の茶代等、事業実施において必要最小限のもの	
53	一の他	(2)受益者負担:それぞれの協働事業において、その目的と内容に応じて受益者負担を求めることもある。	
		(3)補助率の参考基準:市と市民活動団体の協働により,公共的課題の解決や地域の活性化を図る事:で100%としている。	耒といっ 性質上,補助率を上限額の範囲内
		で100%としている。 (4)見直し期間:交付団体は年度毎に審査によって決定するため,見直し期間や終期は設定していない	
		、いんほうかは、人口は守ら十次は「田丘」のフェルだってにい、元旦しがは「下方は女だしている。	0

4平成24年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

(1)以計1四/	
補助金名称(当時)	協働事業提案制度負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
見直し	他の地域に関連する補助金等の関係について留意しながら、より地域の活性化等に資するよう事業の見直しを図ること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果
	審査要領の改正(平成25・26年度)・補助金区分の名称変更(平成27年度) いずれも,それまでよりもシンプルでわかりやすいものとすることで,団体にとっても提案しやすい制度となった。

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

	年度毎に提案事業の募集と選定を行うため、継続して実施することで効果が高まる事業について、翌年度以降の対応が課題である。
解決に向けた取組	協働のきっかけづくりとしての事業であり,前年度採択事業を翌年度に全て採択することは難しいが,団体と市が連携を密にすることにより, 事業継続のための情報共有を図ることは可能である。

評 価	結 果	理由、改善・見直しの方向				
1次評価		事業は、旭川市まちづくり基本条例第11条に規定する市民等と市との協働を推進するため、市民活動団体の自発的な企画と、実践機会を 出する上で有効であり、継続していく必要がある。				
2次評価	見直し	地域力の向上に向け、『地域力向上事業補助金』との統合も含め補助事業の在り方について検討すること。				

1補助金の概要

補 助 金 名 称	オスタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会負担金								
補助金の性格	事業費補助					始期	H18	終期	_
予 算 事 業 名	体育振興費					(事業コード新ノ	/旧)	053110/021	206
所 管 部 署	市民生活 部	3 7	スポーツ 課		スポーツ扱	興 係 電	話番号	内線63	33
交付先(団体,個人等)	公益財団法人 旭川	公益財団法人 旭川市体育協会							
交付目的	(対象) 誰, 何に対して								
עם פוע א	(意図) どういう状態にしたい	- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
対象事業等の内容	少年野球を通じて、北 ある。	海道内のスァ	ポーツ少年団	団の交流及び	が組織活動 σ	が大を図る	ことを目的。	として開催さ	れるもので
積算方法	従来, 公益財団法人 から当該大会分相当								₹18年度
	① 交付団体数			単位:団体	② 大会参	加者数			単位:人
事業量指標と過去5年間	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の実績	1	1 1	1	1	365	371	342	352	366
**********	1			単位:					単位:
成果指標と過去5年間の	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
実績									

2収支状況等 単位:千円

2枚文价加等							
		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)	
	前年度繰越	90	125	71	5	0	
סוו	市補助金	300	300	300	300	300	
入	協議会負担						
内							
訳							
	その他	650	629	656	741	746	
収入	、合計	1,040	1,054	1,027	1,046	1,046	
市補	助率(%)	28.8%	28.5%	29.2%	28.7%	28.7%	
支出	合計	915	983	1,022	1,046	1,046	
	うち食糧費、交際費	87	87	105	92	92	
次年	度繰越	125	71	5	0	0	
一般	財源	300	300	300	300	300	
特定]財源						
Т	一大 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
件	金額 金額	734	734	737	718	712	
費	臨時•嘱託						
その	他事務費						
合計	-	1,034	1,034	1,037	1,018	1,012	
益対	象者数	371	342	352	366	366	
補助金単位コスト(単位:円) 適格性		2,787	3,023	2,946	2,781	2,765	
		◆会計処理が適正 ◆事業	美内容等と補助目的と整合	性有 ◇決算における繰起	基金(剰余金)が補助額から	判断し, 妥当	
		を付議し、北海道教育委員	会に報告していることから	5適正に処理されている。 a	また事業内容と補助目的は	は整合している。繰越金に	
	訳 収市支 次一特 人件費 そ合 益が金	収入内訳	前年度繰越 90 市補助金 300 100	前年度繰越 90	前年度繰越 90 125 71	前年度繰越 90 125 71 5 市補助金 300 300 300 300 300 300 300 300 300 30	

Sη	回別項目に対する記 項目	+im チェック項目 チェック項目	→ 評価			
		◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	■ 合致する			
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する			
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない			
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する			
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定				
		◇ 上記以外	□ 合致しない			
1		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する			
補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内				
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内				
余		◇ 上記以外	□ 合致しない			
交付		◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)			
付			□ 有(4年以上)			
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	┃□ 継続4年未満			
準と	(4)見直し期間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外)			
の適合			■ 同一団体補助だが、見直し設定していない			
合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定 していない			
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する			
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない			
	(6)支出を証する	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する (※左欄2項目とも適合)			
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	****			
		◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する			
		◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	- A 741 451 .			
		◇ 上記以外	□ 合致しない			
21	公益性	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている ◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化,自立化の余地がない	■ 公益性が高い			
		◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない			
3必要性		◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす ◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◇厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	■ 必要性が高い			
		◆上記以外	□ 必要性が高いとは言えない			
4効果		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている ◇対象者が増加するなど, 時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	■ 効果が高い			
		◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない			
5その他		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記 あれば,記載し説明すること。	チェック項目以外で評価すべき項目が			
		3, 4 この大会は、旭川が生んだ大投手スタルヒンの栄光を顕彰するための銅像の建立を記念に、市が主導し、冠大会として、本市が少年野球のメッカとなるべく設立された経過がある。現在はスポーツ少年団の事務局を持つ、財団法人旭川市体育協会が窓口となって事業を進めているが、旭川市も主催者の一員であるため、応分の負担が必要である。				

4平成24年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

(1)政計画/	
補助金名称(当時)	スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	この大会は、旭川が生んだ大投手スタルヒンの栄光を顕彰するための銅像の建立を記念に、市が主導し、冠大会として、本市が少年野球のメッカとなるべく設立された経過がある。現在はスポーツ少年団の事務局を持つ、財団法人旭川市体育協会が窓口となって事業を進めているが、旭川市教育委員会も主催者の一員であるため、応分の負担が必要である。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(えの)ゆの日士()	

(その他の見直し)

(しの他の光色し)			
(1)見直しの年度	具体的な内容と効果		
(17元世〇〇十人	7(11-11) OI 1 II C/9) N		

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		この大会は、旭川が生んだ大投手スタルヒンの栄光を顕彰するための銅像の建立を記念に、市が主導し、冠大会として、本市が少年野球のメッカとなるべく設立された経過がある。現在はスポーツ少年団の事務局を持つ、財団法人旭川市体育協会が窓口となって事業を進めているが、旭川市も主催者の一員であるため、応分の負担が必要である。
2次評価	継続	_

1補助金の概要

補助金名称	バーサーロ	ペット・ジャル	ペン開催負担	旦金							
補助金の性格	事業費補助	事業費補助					始期	S55	終期	-	
予 算 事 業 名	バーサーロ	ーサーロペット・ジャパン開催負担金					(事業コード 新ノ	/旧)	053201/02	208	
所 管 部 署	市	民生活 部	ス	スポーツ 課		スポーツ扱	興 係 電	話番号	·号 内線6333		
交付先(団体,個人等)	バーサーロ	ペット・ジャル	パン組織委員	会							
交付目的	(対象) 誰,何に対	して	バーサーロ	ペット・ジャ	パン組織委員	員会及び大会	会参加者				
义的自动	(意図) どういう状態	意図) ういう状態にしたい 大会の安全で円滑な運営と参加者に対する良好なサービスの提供									
対象事業等の内容	冬季スポー ペット・ジャ		市民の体力 [.]	作りを目的と	こしたクロスス	カントリース=	キーと歩くス	キーの祭典	である, バー	-サーロ	
積算方法	負担額は,	負担額は、各年度に要する大会運営費及びコース整備費等を考慮し、市の予算の範囲内で支出することとしている。									
	① 交付団	体数			単位:団体	② 当日参	加者数			単位:人	
事業量指標と過去5年間 の実績	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	
の 夫 稹	1	1	1	1	1	3165	2890	2780	3012	2774	
	1				単位:	2	•			単位:	
成果指標と過去5年間の	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	
実績											

2収支状況等 単位:千円

- 10 - 0	. 仏沈寺					単位∶十円
		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
	前年度繰越	5,732	4,711	410	193	40
補収	市負担金	34,000	30,000	32,500	30,000	30,000
助対入	負担金•補助金	2,800	2,800	5,500	6,800	7,231
象内	協賛金•広告料	7,675	7,034	6,905	7,085	7,095
事。	参加料	4,538	4,246	4,467	3,986	4,274
象事業等	その他	1,540	1,507	1,722	1,374	1,474
の 収.	入合計	56,285	50,298	51,504	49,438	50,114
収 市	補助率(%)	60.4%	59.6%	63.1%	60.7%	59.9%
支状	出合計	51,574	49,888	51,311	49,398	50,114
況	うち食糧費、交際費	1378	1698	1412	1397	1410
次:	年度繰越	4711	410	193	40	0
— <u>;</u>	般財源	34,000	30,000	32,500	30,000	30,000
特	定財源					
克人	正職員 人工	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
負担額 人件費	金額	1,468	1,467	1,474	1,437	1,424
額費	臨時•嘱託					
そ(の他事務費					
合	計	35,468	31,467	33,974	31,437	31,424
受益対	付象者数	2,890	2,780	3,012	2,774	2,930
補助金単位コスト(単位:円)		12,273	11,319	11,280	11,333	10,725
適格性		◆会計処理が適正 ◆事業				
		会計処理については、実行 らの会計監査報告を受けて 幅に減少しており適格であ	テ委員会総会時の議決に。 ていることから, 適正に処理 ある。	より予算書を作成し,また, 理されている。また事業内?	総会時の議決により収支 容と補助目的は整合してい	決算書を作成し、監事か る。繰越金についても大

3個別項目に対する 項目	Tim チェック項目	→ 評価
	デエック・項目	■ 合致する
	◆ 運営費は砂重, 切修, 恋枕云寺と対象が ・ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	■ 日玖9分
(1)対象経費	▼ 建占負は又除負, 後や負, 飲食負, 恋枕去負 する パッパ◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	
	◇ 例が印に及種員等 足の工版領と設定し対象 ◇ 食糧費等,原則対象外経費を補助対象	□ 価値はおりる
	✓ 民程員寺, 原則内家が柱員を補助内家	■ 合致する
(2)受益者負担	▼ 過止な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	■ 日玖9分
(2)文無有負担	◇ 文価有負担領力を考慮(減額) U冊助額を次定	 □ 合致しない
	◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1 補 (3)補助率の参考	▼ 3 1/3 2 1/3 1/3 2	
100 1	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助 ^{基準} 金	◇ 上記以外	
並 交	◇ エ記の7 ◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
文 付	◇ 同 国体に対する情勢、手中と日巡に光直し()が叩波関に味る叩力はい。/	□ 有(4年以上) □ 有(4年以上)
基	■ ◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
莖 準	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	_ □ 極続447~個 □ 同一団体. 奨励目的補助ではな
午 と (4)見直し期間	▼	い(対象外)
の		
滴		■ 同一団体補助だが、見直し設定し ていない
適 合		□ 奨励目的補助だが、終期を設定
		□ 突励日的補助にか、終期を設定 ■ していない
(5)交付規程	▼ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
(支出根拠)	▼ 文的が確認制を消し送れ歴年に自致。その他必要なが足は桐稚 ◇ 上記以外	┃ □ 白玖9~
(文田(政))	▼ 主義報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
	▼ 天橋取ら時, 文山証拠音規提出有◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
(6)支出を証する	▼ 観び確定時, 天地調査等 (原並過報 で又出証拠音類原本, 収算等の確認/と天池 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
書類の添付		口 199.18 口以 y 10
		□ 合致しない
		■ 公益性が高い
O (A) ++ ++	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている◇総合計画の重点施策の推進に寄与している◇民営化,自立化の余地がない	■ 公無任が同じ
2公益性		
	◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
	◇設定した事業量指標が上向いている◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
3必要性	◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◇厳しい財政状況の中、他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
- 2 2 1		
	◆上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
	◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
4効果	◇対象者が増加するなど、時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
	◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない
	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記	- ピチェック項目以外で評価すべき項目が
	あれば、記載し説明すること。	
- 7 @ /llh	3, 4	
5その他	┃ 旭川で継続的に開催される数少ない国際大会であり、大会の継続から得られるノウハウは、イ	也の国際大会の誘致に対しても有用で
	ある。	
	┃ また, 合宿誘致基盤の一端を担う部分もあることから大会開催の効果は高い。	

4平成24年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u> </u>	
補 助 金 名 称(当 時)	バーサーロペット・ジャパン開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	参加人数等に対する負担金の在り方について、減額を含め事業費を精査すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成25年度	事業精査により負担金総額を減額した。
(えの仏の日古し)	

(その他の見直し)

(での)にの)にほじ/	
(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題 解決に向けた取組

評 価	結 果 理由, 改善・見直しの方向						
1次評価	継続	冬季スポーツの祭典としての役割の大きさや参加者数を考慮すると、継続して事業を実施する必要性は非常に高い。					
2次評価	見直し	事業の持続可能性の確保、受益者負担の適正化に向け、事業規模、参加料等を見直すこと。					

1補助金の概要

補助金名称	旭川ハーフ	旭川ハーフマラソン開催負担金								
補助金の性格	事業費補助	業費補助 始期 H21 終期 -							_	
予 算 事 業 名	各種スポー	ツ大会開催	負担金·補助	功金			(事業コード新)	/旧)	053202/021	209
所 管 部 署	市	民生活 部	7	スポーツ 課		スポーツ扱	興 係 電	話番号	内線63	33
交付先(団体,個人等)	旭川ハーフ	マラソン実行	丁委員会							
交付目的	(対象) 誰,何に対	して	大会主催者	首及び参加 者	Í					
עם פו עו אַ	(意図) どういう状態	まにしたい	大会経費 <i>0</i>)一部を負担	!することに。	より, 円滑な:	大会運営を	支援する。		
対象事業等の内容	ハーフマラ:	ハーフマラソン・10km・3km・ファミリーランの種目を設定し, 各組(ファミリーランを除く)は8位までを表彰する。							5 .	
積算方法	旭川マラソン開催負担金要綱によって定める金額を負担金として支出する。負担金の額は,大会内容・経費を検討 し,対象経費の2分の1以内で,かつ市長が必要と認めた予算の範囲内とする							費を検討		
	① 交付団	体数			単位:団体	② 大会参	加者数			単位:人
事業量指標と過去5年間	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の実績	1	1	1	1	1	2975	3379	3803	3437	4469
	1			•	単位:	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
実績										

			平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
		前年度繰越	2,673	3,877	3,709	4,027	4,063
補	収	市補助金	800	700	700	10,000	10,000
補助対	入	道新補助金	400	400	400	400	400
象	内	協質金 化 古協 替全	1,300	1,535	1,539	1,600	1,500
象事業等	訳	参加料	10,723	11,657	10,555	17,054	15,578
美		その他	2	2	1	33	9
の	収入	合計	15,898	18,171	16,904	33,114	31,550
収土	市補	助率(%)	5.0%	3.9%	4.1%	30.2%	31.7%
支状	支出	合計	11,360	14,462	12,878	29,051	31,550
況		うち食糧費,交際費	361	406	409	613	895
	次年	度繰越	3877	3877	4027	4063	0
	一般財源		800	700	700	10,000	10,000
	特定	財源					
市	人	正職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
負担額	件費	金額	734	734	737	718	712
額	費	臨時•嘱託					
		他事務費					
	合討		1,534	1,434	1,437	10,718	10,712
受	益対	象者数	3,379	3,803	3,437	4,469	4,100
補」	功金島	単位コスト(単位:円)	454	377	418	2,398	2,613
					↑性有 ◆決算における繰起		
適格性			会計処理については、実行 らの会計監査報告を受ける 数年間継続して生じている	ていることから, 適正に処理	より予算書を作成し,また, 埋されている。また事業内? 要に応じて見直しを行う。	総会時の議決により収支 容と補助目的は整合してい	決算書を作成し、監事かいる。繰越金については、

<u>3</u> 作	別項目に対する評	平価	
	項目	チェック項目	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1) 对象社員	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
補	(3)補助率の参考	┃ ◇ 個人 1/3以内	
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		■ ◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
غ	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		■ 同一団体補助だが、見直し設定し
適			ていない
適合			□ 奨励目的補助だが, 終期を設定
性			していない
	(5)交付規程 (支出根拠)		■ 合致する
		◆ 大門が建る間を対する方面を対するする方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対する方面を対するする方面をするする方面を対するするする方面をするするする方面をするするする方面をするするする方面をするするする方面をするするする方面をするするする方面をするするするする方面をするする方面をするするするする方面をするするするするするするするするするするするするするする方面をするするするするするするするするするするするするするするするするするするする	□ 合致しない
	(又山低炒)	◇ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	□ 合致する
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	▼ 観び確定時、	■ 概ね合致する
	書類の添付	▼ 大橋和古時、音類八重で、加山姫脇で矢地調査寺で添げた目光でいる。	一 1
		◇ 上記以外	□ 合致しない
			■ 公益性が高い
٠,	. <u> </u>	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている	■ 公益性が高い
21	公益性	◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化,自立化の余地がない	
		◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
		◆設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
3 ij	必要性	◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	
O %	女工	◇厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
		◇上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
4交	力果	◆対象者が増加するなど,時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
		┣──	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記	
		あれば、記載し説明すること。	
5.2	一の他		
57	. Will		

4平成24年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補 助 金 名 称(当 時)	旭川ハーフマラソン開催負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
減額	多額の繰り越し金を生じていることから減額すること
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成25年度	平成24年度 負担金実績額80万円 → 平成25年度負担金実績額70万円に減額
/ # ~ W ~ E + L \	

(その他の見直し)

(での)にの)にほじ/	
(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

平成27年度から、ハーフマラソン種目について公道化したため費用が増大し、市からの負担金1000万円なくしては大会を開催・運営が困難となった。今後も公道使用のコースでの開催を継続する予定であり、フルマラソン化も視野に入れていることから、負担金について総合的な検討が必要である。
実行委員会の構成団体としての相応分の負担は行うべきだが、大会開催が本市にもたらす効果を見極めながら費用負担することとし、また、参加者の増加による参加料収入増、企業からの協賛金収入の増加に努めることにより、負担金の増加を抑制する。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向						
1次評価	継続	公道化による経費の増大は今後も継続することから、当面は大会の開催・運営に不足する分の負担金の支出が必要である。						
2次評価 見直し 。		より旭川らしさを感じられるコース設定の視点を持ちながら、運営コストの削減を図ること。						

1補助金の概要

補 助 金 名 称	旭川市市民委員会活動補助金								
補助金の性格	運営費補助	運営費補助				始期	S37	終期	
予 算 事 業 名	住民活動推進費	民活動推進費				(事業コード新	/旧)	012201/112	2101
所 管 部 署	市民生活 部	ß ħ	i民活動 課		市民活	舌動 係 電	話番号	内35	15
交付先(団体,個人等)	市内64地区市民委員	会							
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	市民							
X 13 G # 3	(意図) どういう状態にしたい								
対象事業等の内容	一定地域内に自主的成活動・ボランティア						岳動∙交通安	全推進活動	•青少年育
積算方法	均等割200, 000円	+世帯数割(@ 200円× i	市民委員会	構成世帯数	()			
	① 市民委員会加入	世帯数		単位:世帯	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の実績	104,311 103,56	103,021	101,478	100,046					
*	① 町内会加入率			単位:%					単位:
成果指標と過去5年間の 実績	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
大限	62.4% 61.7	% 61.2%	60.3%	59.4%					

2収支状況等 単位∶千円

			平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
		前年度繰越	15,417	15,060	13,198	15,435	15,465
補	収	市補助金	33,513	33,404	33,096	32,809	32,888
補助対象事	入	会費	27,105	27,609	27,189	27,189	26,465
象	内						
事	訳						
業等		その他	40,814	38,781	44,422	44,422	37,291
。 の	収入	、合計	116,849	114,854	117,905	109,653	112,109
収	市補	助率(%)	28.7%	29.1%	28.1%	29.9%	29.3%
支状		l合計	101,789	101,656	102,470	102,470	98,607
況		うち食糧費、交際費	4408	4242	4148	4148	3666
	次年度繰越		15060	13198	15435	0	13489
Ŀ		以財源	33,513	33,404	33,096	32,809	32,888
	特定財源						
市	人	正職員 人工	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
市負担額	件 費	金額	1,469	1,467	1,475	1,437	1,424
		臨時•嘱託					
 		他事務費					
_	合計		34,982	34,871	34,571	34,246	34,312
		象者数	103,564	103,021	101,478	100,046	99,486
補助	金鱼	単位コスト(単位:円)	338	338	341	342	345
						送金(剰余金)が補助額から	
適格性			会計処理については、総会 ては、数年間継続して生じ 時点検する必要がある。	会時において, 監査から会 ているが, 市補助金が交付	計監査報告を受けているこ 対されるまでの間に,総会	こと等から、適正に処理され にかかる経費の支出等が。	ıている。繰越金につい 必要であることから,随
\V	1/4	弗(エ映号八)は亚	成24年度7344千円 亚	ポッチ 在 3 2 2 3 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	世00年度7.034 千円 亚	戊07年年7100 千円 亚	戊00年度7100千円 名

3個別項目	目に対する評	平価	
	頁目	チェック項目	→ 評価
		◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
(4) 54	·象経費	◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
(1) X1	永 社員	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
(2)受	益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
1		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
	助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
助基準		◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◆ 上記以外	■ 合致しない
*		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
交付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助.終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	直し期間	A MANAGERIAN I INC.	い(対象外)
。 の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	, E O /VIII-I		■ 同一団体補助だが、見直し設定し
適			ていない
適合			■ 奨励目的補助だが、終期を設定
性			していない
(5) 奈	(5)交付規程 (支出根拠)	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		→ 大門が記憶は耐たが、医が基準に自然、その記述をあれたは咽喉	□ 合致しない
	(又山依拠)	→ 工品のパー ◇ 実績報告時,支出証拠書類提出有	□ 合致する
		→ 天橋報告時, 文田証拠書類徒出行 ◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
(6)支	出を証する	 → 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
書類の)添付	→ 天橋和日町、普及八重で、加田曜誌で天地調査すで添りに目れている。 ◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	■ 1城18 L 以 f · 0
		◇ 上記以外	□ 合致しない
			■ 公益性が高い
~ 11 26 14		◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている ◇※◇☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	■ 公益性が高い
2公益性		◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化,自立化の余地がない	
		◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
		◇設定した事業量指標が上向いている ◆廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
3必要性		◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	
0必女に		◇厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
		◆上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
4効果		◇対象者が増加するなど,時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
.,,,,,,		◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない
		▼エ記ダイ 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記	
		「補助金叉り参与との過点に」で自我でない。全田、及び「公量に」「別来」「必要に」において工能あれば、記載し説明すること。	コンチング党ログバで町間 ダ゙゚で独口が
		<3 必要性, 4 効果について>	
5その他		市民委員会は, 地域主体のまちづくりの推進において活動主体となる, 町内会を主導し, 相互の	の連絡調整を行っていくなど重要な役割
		を担っている。町内会加入促進など全市的な取組を進めていく上でも重要な存在であり、本市が	
		ものである。また、過疎化等を背景とする加入率低下等により、住民会費収入が減少している市	「民委員会も存在するなかで, 本補助金 「大会員会も存在するなかで, 本補助金
		は市民委員会の活動を下支えし、活動を維持・活性化させるものとして効果、必要性が高いもの	Dである。

4平成24年度行政評価への対応状況等

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	旭川市市民委員会活動補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
見直し	地域力向上事業や地域まちづくり推進事業などの事業費補助への移行も含め、より効果的な補助となるよう検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成24年度	均等割額の単価を変更(250千円→200千円), 世帯割額の単価を変更(180円→200円)。合計1,000千円の減額。

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果
	(平成9年度)世帯割額の単価を変更(180円→200円) 世帯割分で2,211千円の増額 (平成19年度)世帯割額の単価を変更(200円→180円) 世帯割分で2,262千円の減額
十八コーラ	(十八) 19十尺/世帝司領の手間と友史(200日~100日) 世帝司力(2,202十日の)成領

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

	用り入心エン体とことが行べらられた状態								
課題	市民委員会活動補助金は、市民委員会活動の充実のため必要であるが、成果・効果が判別しやすく広く市民の理解が得られるよう、検討を 行う必要がある。								
解決に向けた取組	活動内容をわかりやすく掲載した事業報告書を市民委員会に提出してもらい,旭川市のホームページ等に掲載する事などを検討する。								

評価	評価 結果 理由, 改善・見直しの方向							
1次評価	継続	役員成り手不足,加入率の低下等,住民組織の運営が危ぶまれる中,運営経費の確保も困難となりつつあることから,補助金交付は必要である。						
2次評価	見直し	『市民委員会連絡協議会運営補助金』『地域まちづくり推進事業補助金』との関係を整理するとともに、他都市の状況等を踏まえ、補助単価の適正化を図ること。						

1補助金の概要

補助金名称	旭川市市民委員会連絡協議会運営補助金								
補助金の性格	団体への補助(運営費	補助)				始期	S61	終期	
予 算 事 業 名	住民活動推進費					(事業コード新	/旧)	012201/112	2101
所 管 部 署	市民生活 剖	市民生活 部 市民活動 課 市					話番号	内35	15
交付先(団体,個人等)	旭川市市民委員会連	絡協議会							
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	市民	市民						
X 10 G H 1	(意図) どういう状態にしたい	旭川市市民委員会連絡協議会の活動を通じ、住みよい地域社会の建設と市民福祉の増進に こしたい 寄与する。							
対象事業等の内容	旭川市市民委員会連 ミュニティ活動の研究。 市民の福祉増進のたる	ヒリーダー研	修, まちづく	Jに対する行	う政への提言	,市民委員	会活動に対		
積算方法	毎年度予算の定める	節囲内で交付	†。						
	① 市民委員会加入地	世帯数		単位∶世帯	2				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の夫限	104,311 103,564	103,021	101,478	100,046					
* B * E 12 + - 6 22 4	① 町内会加入率			単位:%					単位:
成果指標と過去5年間の 実績	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
大限	62.4% 61.79	61.2%	60.3%	59.4%					

2収支状況等 単位:千円

	2收文依况等 单位.十日									
		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)				
	前年度繰越	843	905	905	916	926				
補助収	, 市補助金	6,849	6,883	6,916	6,951	6,978				
財 入										
	参加者負担金	1,411	1,789	1,500	1,535	1,600				
事訳										
象事業等	その他	13	10	10	10	10				
の収.	入合計	9,116	9,587	9,331	9,412	9,514				
収 市	補助率(%)	75.1%	71.8%	74.1%	73.9%	73.3%				
支状支	出合計	8,212	8,682	8,415	8,486	9,513				
況	うち食糧費、交際費	1481	1866	1567	1535	1600				
次:	年度繰越	905	905	916	926	0				
— -	般財源	6,849	6,883	6,916	6,951	6,978				
特	定財源									
立人	一	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2				
負担 費	正職員金額	1,469	1,467	1,475	1,437	1,424				
負担額	臨時•嘱託									
そ(の他事務費									
合	計	8,318	8,350	8,391	8,388	8,402				
受益対	村象者数	103,564	103,021	101,478	100,046	100,046				
補助金	単位コスト(単位:円)	80	81	83	84	84				
		◆会計処理が適正 ◆事業								
適格性	ŧ	会計処理については,会 正に処理されている。繰起 件費や総会にかかる経費	十責任者のもと行われてい 弦金については,数年間継続 の支出等,必要な経費もあ	る, また, 総会時において 続して生じているが, 年度: 5ることから, 随時, 点検し	, 監査から会計監査報告を 当初, 市補助金が交付され , 必要に応じ, 見直しを行う	を受けていることから,適 えるまでの間にかかる人 う。				

31	別項目に対する評		
	項目	チェック項目	→ 評価
		◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	□ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)对象社員	◆ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	■ 概ね合致する
		◇ 食糧費等,原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
1		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◆ 上記以外	■ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	□ 有(4年以上)
基		┃ ◇ 奨励目的の補助.終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
غ	(4)見直し期間	The state of the s	い(対象外)
の	(1)		■ 同一団体補助だが、見直し設定し
滴			- 同 国体情助たが、発量し設定していない
適合			■ 奨励目的補助だが,終期を設定
性			していない
	(5)交付規程		■ 合致する
		▼ 文的が程は前足角、医外盔牛に自致、その他の安なが足は桐稚 ◇ 上記以外	□ 合致しない
	(支出根拠)	▼ 主稿級分 ★ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		▼ 天橋報日時, 文出証拠書類徒出有◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	一 日以する (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	▼ 競の確定時、美地調査等(預金通帳や文山証拠者規序本、帳牌等の確認/を美胞 ◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 実積報点時、音類人量で、抽血確認や実地調査等で添りに含えている。 ◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	L 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
			□ 合致しない
		◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている	■ 公益性が高い
21	公益性	◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化、自立化の余地がない	
		◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
		◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
O .i	必要性	◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	
3 y	2安住	◇厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
		◆上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
4効果		◇対象者が増加するなど、時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
			□ 効果が高いとは言えない
		▼エ記めた 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記	
		「補助金叉竹奉奉との適合性」で合致しない理由,及い「公益性」「効果」「必要性」」こおいて上記 あれば、記載し説明すること。	アエッフ項日以外で計画すべき項目が
		(3) 必要性, 4 効果について>	
53	一の他	へる必要性,4 効果に プバイブ 市民委員会連絡協議会は,地域主体のまちづくりの推進において活動主体となる, 市民委員会	:わ町内全を主道 相互の連絡調整を
		行うなど,重要な役割を担っている。町内会加入促進など全市的な取組を進めていく上でも中心 であると,重要な役割を担っている。町内会加入促進など全市的な取組を進めていく上でも中心	
		進に対して効果が高く、必要性も高いものである。	

4平成24年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u>(1)以时间/</u>	
補助金名称(当時)	旭川市市民委員会連絡協議会運営補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	事務局の自立化に向けた取組を進めること
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果
(平成15年度) (平成21年度)	市民連協・専門部会活動の充実強化を図るため補助金額を増額 560万円→600万円 市の財政状況等により補助金額を減額 600万円→550万円 市の財政状況等により補助金額を減額 550万円→500万円 専任職員1名分の人件費を加算

5補助実施上の理題とその解決に向けた取組

課題	未超さての解决に向けた収配
解決に向けた取組	

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		事務局の独立に向けて、組織運営のための独自財源確保は出来ないことから、必要経費の適正な積算に基づく補助金交付は必要である。
2次評価		『市民委員会活動補助金』『地域まちづくり推進事業補助金』との関係を整理した上で、協議会の活動実態に即した補助制度となるよう検討すること。また、補助対象経費について精査すること。

1補助金の概要

補 助 金 名 称	地域力向上事業	業補助金								
補助金の性格	団体への補助(事業費補助)					始期	H22	終期		
予 算 事 業 名	住民活動推進費	貴					(事業コード 新	/旧)	112101/01	2201
所 管 部 署	市民生	活 部	市	民活動 課		市民活	舌動 係 電	話番号	内線(3516
交付先(団体,個人等)	地区市民委員会	会及び所	属する町内	会・自治会						
交付目的	(対象) 誰, 何に対して		地区市民委	員会及び所	属する町内]会•自治会				
义的自动	(意図) どういう状態にし		地域課題解 ちづくりを推		携の促進等	等の活動を3	を援すること	で,地域力	の向上と市員	民主体のま
対象事業等の内容 地域の課題解決事		央事業, 5	地域連携の	促進事業,	その他地域	力向上に関	する事業			
積算方法	上記事業に係る	6経費(補	輔助対象経費	貴)の10分の	08以内, 額	[は20万円を	を限度とし、	予算の範囲	内での交付	としている。
	① 補助金交付	事業(団]体)数		単位:団体	2				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の夫棋	12	17	16	20	19					
	① 町内会加入	.率			単位:%	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
実績	62.4	61.7	61.2	60.3	59.4					

2収支状況等 単位:千円

2収文状况寺						単位:十円			
			平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)		
		前年度繰越							
補	収	市補助金	2,435	2,006	2,332	2,409	3,000		
切り	入	参加者負担金	69	80	300	228	284		
象	内	市委等負担金	1,871	1,658	1,449	1,607	2,001		
事	訳	寄付金	828	1,100	1,054	904	1,125		
助対象事業等		その他	1,000	935	376	127	158		
の	収入	合計	6,203	5,779	5,511	5,275	6,568		
収	市補	助率(%)	39.3%	34.7%	42.3%	45.7%	45.7%		
支状	支出	合計	6,203	5,779	5,511	5,275	6,567		
況		うち食糧費,交際費	397	1295	740	729	908		
	次年	度繰越							
	一般	財源	2,435	2,006	2,332	2,409	3,000		
	特定財源								
市	人	正職員 人工	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7		
負担額	、 件 費	金額	5,141	5,136	5,162	5,028	4,985		
額	費	臨時•嘱託							
	その	他事務費							
	合計	+	7,576	7,142	7,494	7,437	7,985		
受益	受益対象者数		29,680	17,199	9,122	11,194	13,937		
補助	補助金単位コスト(単位:円)		255	415	822	664	573		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			◆会計処理が適正 ◆事業	関い 関い 関い 関い 関い 関い 関い とを のと を のと を のと を のと の のと の の の の の の の の の の の の の	性有 ◇決算における繰越	(剰余金)が補助額から	·判断し, 妥当		
			会計処理については、当れ ている。	刃事業計画に基づき適正に	-処理されている。補助金3	を付決定額に対して余剰金	か生じた場合は戻入し		
			+04左左2044 五四 亚						

3個別項目に対する評価					
	項目	チェック項目	評価		
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する		
	/a\±14.47#	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外			
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する		
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象			
		◇ 適正な負担を設定			
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定			
	(2) 久皿 日 天江	◆ 上記以外	■ 合致しない		
		▼ 上記の月 ◇ 団体 1/2以内			
1	(3)補助率の参考	◆ 個人 1/3以内			
補助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内			
即	坐 干	•	■ 合致する □ 機ね合致する □ 合致する ■ 合致しない □ 合致する ■ 合致しない □ 有(4年未満) □ 有(4年未満) □ 同では、 関係を設定して、 関係を設定して、 関係を対しない ■ 合致しない ■ 合致しない □ 公がの間が、 終期を設定して、 が、 終期を設定して、 が、 ののののののののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは		
金交付:					
父		◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)			
付出		A 15 C C C C C C C C C C C C C C C C C C			
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定			
準		◇ 終期未設定で、補助継続4年以上			
ع	(4)見直し期間				
準との適合性					
適			ていない		
台			□ 奨励目的補助だが、終期を設定		
性			していない		
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する		
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない		
	(XII IX)	◇ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	□ 合致する		
		◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)		
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する		
	書類の添付	◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	_		
		◆ 上記以外	口 合致しない		
~ <i>(</i>	→ - .l.:L	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている ◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化、自立化の余地がない	■ 公金住が同じ		
21	公益性				
		◇上記以外			
		◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い		
3 10	必要性	◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない			
3,2	女任	◇厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である			
		◆上記以外	□ 必要性が高いとは言えない		
		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等、客観的な評価を得ている	■ 効果が高い		
4効果		◇対象者が増加するなど、時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい			
		◆上記以外	ロー効用が宣いたけ言うない		
5その他					
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記あれば,記載し説明すること。	ナエック埧日以外で評価すべき埧目が		
			, 7		
		・1(2)受益者負担については,実施事業の内容から必要に応じて,適正に費用負担を求めてし ・1(3)補助率については,地域力の向上等を目的とした事業に取り組みやすいように,補助率			
		・1(3)補助率については、地域カの向上寺を目的とした事業に取り組みやすいように、補助率・3必要性について、地域コミュニティの維持・充実が重要な課題となっている中、地域活性化の			
		・3必安任に プバく、地域コミユーアイの維持・元夫が重要な詠起となっている中、地域活任化の していく必要がある。	//_ʊ/ʊ/アホズィムィスハロクアで1」以こして又抜		
		・4効果について、地域主体のまちづくりを進めていくためには、地域コミュニティの基礎単位であ	ある町内会等の活性化が不可欠であ		
		り、本市施策の推進に対して効果は高いものである。			

4平成24年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

地域力向上事業補助金(市民委員会チャレンジ事業補助金)
理由、改善、見直しの方向
他の地域に関連する補助金等の関係について留意しながら、より地域力向上に資するよう事業の見直しを図ること。
具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(CV) LLV) LL LL	
(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

議 起	住民同士の意識が希薄になり,地域活動への参加意識が高まりにくかったり,地縁的なつながりを持つことが難しくなっており,地域コミュニティの維持・充実が重要な課題となっている。
解決に向けた取組	地域が主体となって実施する, 地域活性化や様々な課題解決のための取組みや, そうした活動の担い手を育成する取組みを, 行政として側面から支援していく必要がある。

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	地域コミュニティの機能低下が懸念される中, 地域の課題解決や地域連携の促進など, 地域力の向上のために本補助は必要である。
2次評価	見直し	補助対象団体, 市民委員会活動補助金との関係を整理し, 『協働事業提案制度負担金』との統合も含め, 補助事業の在り方について検討すること。

1補助金の概要

補 助 金 名 称	旭川市地域	会館建設費	等補助金							
補助金の性格	団体(事業費	貴)補助					始期	S43	終期	_
予 算 事 業 名	地域会館建	設費等補助]金				(事業コード 新	/旧)	112105/01	12103
所 管 部 署	市	民生活 部	市	民活動 課		市民》	舌動 係 電	話番号	内線:	3516
交付先(団体,個人等)	町内会, 地[区市民委員	会, 2以上 <i>σ</i>)町内会の選	直合体等住戶	民活動の母 ^の	体となってし	る団体		
交付目的	(対象) 誰, 何に対し	して	地域住民							
Z N G W J	(意図) どういう状態		地域の住民 性と連帯性					活動,社会教	教育活動等 值	主民の主体
対象事業等の内容		地域会館等を新築、増改築、修繕若しくは取得又は会館等の敷地に融雪設備を設置する場合で、これらに要する費 用が30万円以上のもの。					こ要する費			
積算方法	上記事業に	上記事業に要する費用の3分の1以内、700万円を限度額とする。								
	① 補助団(体数			単位:団体	2				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の夫限	8	4	7	5	10					
	① 地域会的	館数			単位:館	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
実績	294	297	300	301	289					

2収支状況等 単位:千円

XX1	人儿守					単位:十円
		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
d u	前年度繰越 市補助金	2,717	2,220	2,938	4,408	4,741
以入内訳						
	その他	5,440	4,453	5,881	8,832	9,491
収入合計		8,157	6,673	8,819	13,240	14,232
市補助率(%)		33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%
支出	合計	8,157	6,673	8,819	13,240	14,232
	うち食糧費,交際	費				
次年	度繰越					
一般	財源	2,691	2,195	2,912	4,381	4,714
特定	財源	26	25	26	27	27
人	て 人工	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
件	金額	2,203	2,201	2,212	2,155	2,137
費	臨時•嘱託					
その	他事務費					
合計	<u> </u>	4,920	4,421	5,150	6,563	6,878
益対	象者数	4,772	8,356	4,520	9,830	6,238
助金草	単位コスト(単位:F	円) 1,031	529	1,139	668	1,103
格性					戍金(剰余金)が補助額から	判断し, 妥当
	収入内訳 収市支 次一特人件費 そ合益助	収入内訳 市補助金 での他 収入 での での での での での では できる	平成24年度(決算) 前年度繰越 市補助金 2,717 入内訳 その他 5,440 収入合計 8,157 市補助率(%) 33.3% 支出合計 8,157 うち食糧費, 交際費 次年度繰越 一般財源 2,691 特定財源 26 人 件費	平成24年度(決算) 平成25年度(決算) 前年度繰越 市補助金 2,717 2,220 その他 5,440 4,453 収入合計 8,157 6,673 市補助率(%) 33.3%	平成24年度(決算) 平成25年度(決算) 平成26年度(決算) 前年度繰越	平成24年度(決算) 平成25年度(決算) 平成26年度(決算) 平成27年度(決見) 前年度繰越

3個別項目に対す	ける評価	
項目	チェック項目 ー	→ 評価
	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
(1)対象在負	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
	◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
	◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
(2)受益者負	担 🔷 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
	◇ 上記以外	□ 合致しない
1	◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
補 (3)補助率の参	⇒考	
助基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金	◇ 上記以外	□ 合致しない
交	◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付		□ 有(4年以上)
基	◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
と (4)見直し期		い(対象外)
の		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
適		ていない
合		□ 奨励目的補助だが、終期を設定
性		していない
(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
(24) 12()2/	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
4 - 3 - - - 1 - 4 - 	→ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
(6)支出を証	する ◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
	◇ 上記以外	□ 合致しない
	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている	■ 公益性が高い
2公益性	◆ 1 付えたり気が 市民に直接 間接助に効果が 1 と 1 / に 2 と 2 と 2 と 3 と 3 と 3 と 3 と 3 と 4 と 3 と 3 と 4 と 3 と 3	
	◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
	V — H-VV	■ 必要性が高い
	◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす ◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	■ 必安性が高い
3必要性	◇補助事業に類似したり一に入事を提供する団体等がない ◇厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
	◆上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
	. — н- и и	
. +1	◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
4効果	◆対象者が増加するなど、時代の二一ズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
	◇上記以外	□ 効果が高いとは言えない
	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上まあれば、記載し説明すること。	
	・3必要性について、会館の新築や修繕等には多額の費用を要することから、市の補助がない	
5その他	館を維持していくことができない。また、地域コミュニティ活動の場として、老朽化した既存の会	館を活用していくためにも,本補助は必
	要である。	7-11.5 mt///o ====
	・4効果について、現在、多くの地域会館で老朽化が進んでおり、修繕のニーズが増加している	っことから、時代のニースに合ったもので
	ある。	

4平成24年度行政評価への対応状況等(行政評価)

川市地域会館等建設費補助金				
理由、改善、見直しの方向				
既存ストックの活用という観点から、補助の在り方について検討を進めること。				
具体的な内容と効果				

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果
平成27年度	補助対象に物置と融雪設備を加えた。

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

	平成25年度に実施したアンケート調査では、地域会館の約6割が、築年数30年以上経過しており、本事業への需要が益々高まっていくものと考えられる。
解決に向けた取組	緊急性などを考慮しながら、優先度を決める必要がある。

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		地域会館は、コミュニティ活動の中心的な施設として、また市が設置するコミュニティ施設(住民センター等)を補完する施設として、大きな役割を果たしており、会館を所有する町内会等の負担軽減を図るためには今後も継続した補助が必要である。
2次評価	見直し	公共施設の活用等,既存ストックの活用の視点から事業の在り方について引き続き検討すること。

1補助金の概要

補 助 金 名 称	旭川市市民憲章推進委	美員会活動 補	助金						
補助金の性格	運営費補助					始期	昭和35年	E 終期	
予 算 事 業 名	平和都市·市民憲章推	進費				(事業コード	新/旧)	111106	/092104
所 管 部 署	市民生活 部	市	民活動 課		市民》	舌動 係	電話番号		3514
交付先(団体,個人等)	旭川市市民憲章推進委	秦員会							
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	市民							
X19 E B3	(意図) どういう状態にしたい								
対象事業等の内容		〇市民憲章の普及・啓発(チラシの作成・配布) 〇市民憲章関連事業の取組(ごみのポイ捨て禁止運動(春・秋), 関連事業への参加等)							
積算方法	なし								
	① 委員会加入団体数	,		単位:団体	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の実績	19 19	19	18	18					
	① 市民憲章関連事業	参加人数		単位:人	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
実績	2,914 2,643	3,114	3,490	3,462					

2収支状況等 単位:千円

	1人儿子					单位,十门
		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
	前年度繰越	22	20	19	19	18
補助対化入口	市補助金	100	100	99	100	100
助人	協議会負担					
事。訳	•					
象事業―	その他					
の収入	入合計	122	120	118	119	118
収 市社	補助率(%)	82.0%	83.3%	83.9%	84.0%	84.7%
支援支持	出合計	102	102	99	101	118
況	うち食糧費、交際費					
次生	年度繰越	20	19	19	18	0
— f	般財源	122	120	118	119	118
特別	定財源					
東人	正職員 人工	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
負担額	金額	1,469	1,467	1,475	1,437	1,424
額費	臨時•嘱託					
₹0	の他事務費					
合言	Ħ	1,591	1,587	1,593	1,556	1,542
受益対	才象者数	350,511	349,332	347,799	345,917	343,728
補助金	:単位コスト(単位:円)	5	5	5	4	4
		◆会計処理が適正 ◆事業				
適格性 会計処理については、会計責任者のもと行われており、また、総会時において、監査から会計監査報告を受けていることが 正に処理されている。繰越金については、数年間継続して生じているが、市補助金が交付されるまでの間に、総会に係るで 支出等が必要であることから、随時点検する必要がある。				を受けていることから, 適 引に, 総会に係る経費の		

01	■別項目に対する記 項目	+i□ チェック項目 	→ 評価
	- 7.1	◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(4) 11 4 47 #	◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等,原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
1		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
· 補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助金		◆ 上記以外	■ 合致しない
交付基		◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準と		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
ے	(4)見直し期間		い(対象外)
の			■ 同一団体補助だが、見直し設定し
週			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
Ή			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	
			□ 合致しない
_ ,	\ 26 14	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている	■ 公益性が高い
21	公益性	◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化、自立化の余地がない	
		◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
		◇設定した事業量指標が上向いている。◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
34	必要性	◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	
		◆厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である ◆ 1	
		◇上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等、客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
43	力果	◇対象者が増加するなど,時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
		◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由、及び「公益性」「効果」「必要性」において上記	チェック項目以外で評価すべき項目が
		あれば、記載し説明すること。	
	- 41	1 (2)受益者負担になじまない。	
53	その他	(3)予算の範囲内で定額を補助しており、補助金の交付基準にはなじまない。	
		┃ (4)見直し期間などは設定していないが,事務局見直しと併せて検討していく。 ┃4 旭川市や関連団体で取り組む行事への参加呼びかけ等普及啓発活動を行うことは,旭川市	(足によって道) るべいたる末尺実音を
		4 旭川市や冥建団体で取り組む1]事への参加性のかり寺音及各先活動を1]りことは、旭川市 知らしめる効果がある。	スにこって担しの、これの中内部中で

4平成24年度行政評価への対応状況等(行政評価)

(行政評価)	
補 助 金 名 称(当 時)	旭川市市民憲章推進委員会活動補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	一次評価に同じ
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	限られた予算の中で、いかに効果的に事業を実施するかが課題となっている。
解決に向けた取組	より多くの市民の目に市民憲章が触れるように、PRチラシ等の内容を見直し、設置場所・配布方法を工夫する。

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	例年多くの市民参加により市民憲章関連事業を実施しており、今後も多くの市民が参加できるよう取り組む。
2次評価	継続	_

1補助金の概要

一補助並の概安										
補 助 金 名 称	地域まちづくり推進事業	美補助金								
補助金の性格	団体への補助(事業費	団体への補助(事業費補助)					H22	終期	_	
予 算 事 業 名	地域まちづくり推進費	」域まちづくり推進費					ヾ新/旧)	112102/	012204	
所 管 部 署	市民生活 部	地域ま	ちづくり 課			係 電話番号 内線3518				
交付先(団体,個人等)	旭川市地域まちづくり丼	推進協議会認	足置要綱の別	表に定める	る各協議会 <i>の</i>	の所管区域の住民等が組織する団体等				
交付目的	(対象) 誰,何に対して	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
~ 17147	(意図) どういう状態にしたい									
対象事業等の内容	本補助金の対象は、対性化への取組など、個						や, 地域の)特性, 魅力等	を生かした活	
積算方法	補助金交付要綱に定る ①主体的な地域づくり ②地域協働事業(地域 ③地域協働事業(行政 ④地域づくりトライス	リ事業 域提案型) 女提案型)	: 一つ(: 市長7 事業に(: 毎年)	のまちづく が, 庁内の 系る交付申 度当初に市	り推進協議 地域自治推 請額相当額	会の所管 進会議の 業の区分	管区域当た の審査結果 分に応じて	り20万円 を踏まえ交付 別に定める額	付を決定した	
	① 補助金交付事業数			単位:事業	2				単位:	
事業量指標と過去5年間 の実績	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	5 H26	H27	
の天唄	9 13	14	21	33						
	① 事業に参画した地域	或住民の人数	数	単位:人	2			ı	単位:	
成果指標と過去5年間の	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	5 H26	H27	
実績		_	813	1,059						
								1		

<u>_</u> 1	^	人儿守						单位:十口
				平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
		前年度繰	越					
補	収	市補助金		2,222	3,114	3,359	4,190	5,900
補助対	入入	協議会負	担					
象	内	自主財源					69	
象事業等	訳							
耒等		その他		70		52	83	
の	収入	、合計		2,292	3,114	3,411	4,342	5,900
収	市補	前助率(%)		96.9%	100.0%	98.5%	96.5%	100.0%
収支状	支出	台計		2,292	3,114	3,411	4,342	5,900
況		うち食糧費	,交際費				275	
	次年	度繰越						
	一般	財源		2,222	3,114	3,359	4,190	5,900
	特定	財源						
市台	人	正職員	人工	0.13	0.14	0.21	0.33	0.37
市負担額	件費	工机员	金額	955	1,027	1,549	2,370	2,635
額	費	臨時•嘱語	ŧ					
	その	他事務費						
	合計	<u> </u>		3,177	4,141	4,908	6,560	8,535
受:	益対	象者数		357,679	347,756	345,917	342,526	342,526
補具	助金草	単位コスト(主	単位:円)	9	12	14	19	25
					業内容等と補助目的と整合 かんしゅう			
適格性				会計処理は会計責任者反映した事業に補助金を	のもと適正に行われ、実績 交付しており、事業内容とれ	養報告時に支出証拠書類だ 補助目的の整合性は取れ	が添付され確認している。? ている。繰越金はない。	各協議会の提言内容を

31	<u> 国別項目に対する記</u>		_	=
	項目	チェック項目		
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外		Ⅰ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外		
	(1/內外性員	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象] 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象		〕合致しない
		◇ 適正な負担を設定] 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定		
		◆ 上記以外		合致しない
1		◇ 団体 1/2以内] 合致する
補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内		
助	基準	□ ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内		
金		◆ 上記以外		合致しない
立		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □] 有(4年未満)
交付		The many of the state of the st] 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定] 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上		」 № パュース ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
₹	と (4)見直し期間	▼松粉不改足し、袖切松似年中以上	-	い(対象外)
っ の			-	
適] 同一団体補助だが、見直し設定
合			_	していない
性				〕奨励目的補助だが、終期を設定
III				していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅		Ⅰ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外] 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有		合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施		(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。] 概ね合致する
	百枚のがり	◇ 書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの)		
		◇ 上記以外] 合致しない
		◇不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている		公益性が高い
21	公益性	◆総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化,自立化の余地がない		
	у ш. і т.		-	公益性が高いとは言えない
				必要性が高い
		◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	-	一必安任が高い
31	必要性	◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◆厳しい財政状況の中、他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である		
			_	· > = 4 /2 = 1
		◇上記以外		必要性が高いとは言えない
		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている		効果が高い
4亥	为果	◇対象者が増加するなど,時代のニーズを捉えている ◆費用対効果が大きい		
		◇上記以外	П	効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記		
		「「帰め並えり基本との過じ任」では成じない。全日、次の「公正任」、別ネ」、必要任」であり、で工品「があれば、記載し説明すること。	_,_	
		【1(2)及び(3) 補助金交付基準との適合性で合致しない理由】		
53	その他	本補助金は、地域で活動する様々な団体の連携を促進し、地域の主体的なまちづくり活動を	支援	ますることで、地域力の向上と合わ
		世で地域の活性化を図ることを目的として特に政策的に実施しているものであるため。	- 1/2	

4平成24年度行政評価への対応状況等

(行政評価)	
補助金名称(当時)	地域まちづくり推進事業補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	他の地域に関連する補助金等の関係について留意しながら、より地域カ向上に資するよう事業の見直しを図ること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成25年度	地域まちづくり推進協議会による活動をより充実させるため,一地域当たりの補助金を20万円から30万円に増額した。このことより事業の幅が広がり,地域カ向上に資する事業の実施につなげることができた。

(その他の見直し)

(1)見直しの年度	具体的な内容と効果
平成27年度	地域の主体的な活動を更に充実させるため、補助メニューの細分化を行った。このことにより、様々な地域課題の解決に柔軟に対応できるようになった。

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

	地域課題に対応した補助メニューの検討や構築
解決に向けた取組	地域課題を行政が的確に把握し、各種施策の展開や協働事業等の構築を図る。

評価	評価 結果 理由, 改善・見直しの方向						
1次評価	継続	平成27年度に補助メニューの見直し(細分化)を行ったところであり、当面、継続とする。					
2次評価	見直し	『市民委員会連絡協議会運営補助金』『旭川市市民委員会活動補助金』との関係を整理し、補助事業の在り方について検討すること。					

1補助金の概要

補 助 金 名 称	各種体育大	会運営費補	助金							
補助金の性格	事業費補助	事業費補助金					始期	S55	終期	_
予 算 事 業 名	体育振興費						(事業コード 新ノ	/旧)	053110/021	206
所 管 部 署	市	市民生活 部 スポーツ 課 スポーツ						話番号	内線63	33
交付先(団体,個人等)	旭川市で開	催される全	道,全国大会	会の主催者						
交付目的	(対象) 誰,何に対	(対象) 能,何に対して 各種スポーツ大会の主催者及び参加者								
X IV E DV	(意図) どういう状態	(意図) どういう状態にしたい 大会経費の一部について補助を行うことにより、大会の円滑な運営を目指す。								
対象事業等の内容						しる全道また 要綱に基づ			もって開催さ	れる体育
積算方法	名以上700)名以下5万	円, 701名.], 全道的な				0名以下3万 50名以下1〕	
① 交付件数 _{単位:件} ② 大会参加者数							単位:人			
事業量指標と過去5年間	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の実績	5	13	16	15	15	1919	5021	6042	7479	5623
* B * E 12 + - 6 22 2	1				単位:					単位:
成果指標と過去5年間の	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
実績										

2収支状況等 単位:千円

_ ^_	认 次寺						単位∶十円
			平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
	前年度繰越						
補収	市補助金		350	600	655	755	485
助人	受益者負担	分	8,301	12,430	13,078	13,475	13,745
補助対象事 収入内訳							
事訳	,						
業 等 —	その他						
の収	入合計		8,651	13,030	13,733	14,230	14,230
収市神	補助率(%)		4.0%	4.6%	4.8%	5.3%	3.4%
支状況	出合計		8,302	13,030	13,733	14,230	14,230
況	うち食糧費、3	交際費	723	983	1169	450	450
次生	年度繰越						
— <u>f</u>	般財源		350	600	655	755	485
特別	定財源						
克人	正職員	エ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
負担額	金	額	734	734	737	718	712
額費	臨時•嘱託						
その	の他事務費						
合詞	Ħ		1,084	1,334	1,392	1,473	1,197
受益対	才象者数		5,021	6,042	7,479	5,623	5,623
補助金	単位コスト(単位	立:円)	216	221	186	262	213
					性有 ◇決算における繰越		
適格性	<u> </u>		会計処理については, 実終 また, 事業内容と補助目的		の提出があり、書類原本等	を確認の上、適正と判断し	ている。

項目	チェック項目 ー	→ 評価
XI	◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
(1)対象経費	◆ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
	◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
	◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
(2)受益者負担	→ 過止な気にといた ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
(乙/又皿石具)三	◇ 上記以外	□ 合致しない
4	◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1 al (3)補助率の参考	♦ 個人 1/3以内	
III	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
الراح	◇ 上記以外	
金 交	▼ エ記以外 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
	◇ 同一四座に対する補助、4年で日返に見直し(介配機関に除る叩力体へ。)	□ 有(4年本個) □ 有(4年以上)
寸		□ 付(4年以上) □ 継続4年未満
基	◇ 奨励目的の補助、終期を設定	
集 しんり 日本し 地間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外)
と (4)見直し期間		
カー		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
適		ていない
コ 生		■ 奨励目的補助だが、終期を設定
		していない
(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
	◇ 上記以外	□ 合致しない
	◆不特定多数の市民に直接·間接的に効果が行きわたっている	■ 公益性が高い
2公益性	◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化、自立化の余地がない	
	◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
	◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
	◇ 被 放 と の に	
3必要性	◆厳しい財政状況の中、他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
	◇上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		■ 効果が高い
. +L ==	◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている ◇対象者が増加するなど, 時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	■ 刈木が向い
1効果		
	◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない
	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記 あれば、記載し説明すること。	3チェック項目以外で評価すべき項目が
	大会誘致の促進や競技団体との信頼関係に大きな効果があり、円滑な大会運営を支援する市	の姿勢を示す上で重要である
5その他	ス会誘致の促進や成技団体との信頼関係に入さな効果があり、口頂な人会建国と文張する市また大会が開催された場合、宿泊等の経済効果もあることから、必要性の高い事業である。	ソ 女力で小り工(主女(める。
	いたスペールににいいであり、日日サヤルにのかえている。 かんだい 同い 学术での の。	

4平成24年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

補助金名称(当時)	各種体育大会運営費補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
	体育大会の開催運営費補助に当たっては、大会規模(全国,全道)、開催日数、参加人数等を総合的に判断し補助を行う必要があるため、他市の補助実態等も参考としながら、適正な補助金額となるよう引き続き見直しを継続していく。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成25年度	旭川市において通年で受付けている同様の事業はない。他の同規模の中核市等の制度と比べても内容は妥当である。
/ # ~ W ~ E + L \	

<u>(その他の見但し)</u>		
(1)見直しの年度	具体的な内容と効果	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	大会誘致の促進や競技団体との信頼関係の醸成に大きな効果があり、円滑な大会運営を支援する市の姿勢を示す上で重要な 施策である。
2次評価	継続	_

1補助金の概要

補助金名称	各種体育大会派遣費補助金									
補助金の性格	個人等への補助金						S55	終期	_	
予 算 事 業 名	体育振興費	体育振興費						053110/021	206	
所 管 部 署	市民生活 部	7	スポーツ 課		スポーツ扱	辰興 係 電話番号 内線6333				
交付先(団体,個人等)	全国大会, 世界大会等	全国大会,世界大会等に出場する選手・監督等								
交付目的	(対象) 誰, 何に対して									
נים 🖯 ניו ב	(意図) どういう状態にしたい	- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
対象事業等の内容	スポーツ振興基金の創る。	削設目的に沿	った形で,市	5民が参加す	する全国大会	ὲ , 世界大会	等の区分に	応じて補助	金を交付す	
積算方法	旭川市体育関係団体 20人を限度とする。)ス 大会5千円									
	① 交付件数			単位:件	② 派遣者	数			単位:人	
事業量指標と過去5年間	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	
の実績	73 7	5 103	90	94	357	461	556	551	552	
+ m + l = 1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	1			単位:	2				単位:	
成果指標と過去5年間の 実績	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	
実績										

2収支状況等 単位:千円

248	スル	大 况寺					単位:十円
			平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
		前年度繰越					
補	収	市補助金	4,001	4,414	4,269	4,407	6,416
助	入	受益者負担分	56,765	44,995	41,307	51,076	49,067
象	内						
事	訳						
補助対象事業等		その他					
の [†]	収入	、合計	60,766	49,409	45,576	55,483	55,483
収	市補	助率(%)	6.6%	8.9%	9.4%	7.9%	11.6%
支状況	支出	合計	60,766	49,409	45,576	55,483	55,483
況		うち食糧費,交際費	2117	2021	2132	2567	2567
[次年	度繰越					
-	一般	財源					
!	特定	財源	4,001	4,414	4,269	4,407	6,416
市	人	正職員 人工	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
負担額	件費	金額	1,469	1,467	1,475	1,437	1,424
額	費	臨時•嘱託					
-	その	他事務費					
1	合計	+	5,470	5,881	5,744	5,844	7,840
受益	主対	象者数	461	556	551	552	552
補助金単位コスト(単位:円)		単位コスト(単位:円)	11,866	10,577	10,425	10,587	14,203
					性有 ◇決算における繰越		
適格性			会計処理については、実総また、事業内容と補助目的		D提出があり, 書類原本等	を確認の上、適正と判断し	ている。
			#045 # 7044 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T				

3個別項目に対する		
項目	チェック項目	評価
	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	- Int A T/ T
(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
	◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
/-> -> -> -	◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
	◇ 上記以外	□ 合致しない
1	◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
補 (3)補助率の参考	◆ 個人 1/3以内	
助基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金	◇ 上記以外	□ 合致しない
交	┃ ◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付		口 有(4年以上)
基	◇ 奨励目的の補助,終期を設定	_ □ 継続4年未満
準 (4)見直し期間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外)
と (4)見直し期間の		
滴		□ 同一団体補助だが、見直し設定し ていない
適 合		4. 0
性		■ 奨励目的補助だが,終期を設定 していない
(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
/c) 士山ナミエナフ	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
(6)支出を証する 書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
音段の添り	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
	◇ 上記以外	□ 合致しない
	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている	■ 公益性が高い
2公益性	◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化、自立化の余地がない	
	◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
	◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
	□◇献足した事業重相標が上向いている。◇廃血・縮がすると中氏生治に入さな影響を及ばす □◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	
3必要性	◆厳しい財政状況の中、他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
	◇上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
	◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
4効果	◇ 対象者が増加するなど、時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
1/3/14	◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない
	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由、及び「公益性」「効果」「必要性」において上記	
	あれば、記載し説明すること。	
	全国大会出場の促進や有力選手の育成に大きな効果があり、スポーツ振興を支援する市の姿	勢を示す上で重要な施策である。
5その他	1	

4平成24年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

補助金名称(当時)	各種体育大会派遣費補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
	体育大会の派遣費補助に当たっては、庁内の類似補助制度及び、他市の補助実態も参考にしながら適正な補助金額となるよう 引き続き見直しを継続していく。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成26年度	類似補助(学校教育部)との見直しにより、類似補助の補助金額を見直した。H26年度に補助率の見直しを行った。
/ # ~ W ~ E + L \	

(その他の見直し)	
(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

評 価	結果	理由,改善・見直しの方向
1次評価	継続	全国大会出場の促進や有力選手の育成に大きな効果があり、スポーツ振興を支援する市の姿勢を示す上で重要な施策である。
2次評価	見直し	他都市の状況や庁内の類似する補助制度を参考に上限額等の見直しを検討すること。

1補助金の概要

補助 金名称	ツール・ド・北海道2015大会開催補助金										
補助金の性格	事業費補助					始期	H27	終期	_		
予 算 事 業 名	各種スポー	ツ大会開催	負担金·補助	功金			(事業コード 新ノ	/旧)	053202/02	1209	
所 管 部 署	市	民生活 部	7	スポーツ 課		スポーツ扱	振興 係 電話番号 内線6333				
交付先(団体,個人等)	公益財団法	☆益財団法人ツール・ド・北海道協会									
交付目的	(対象) 誰,何に対	対象) 大会主催者及び参加者 大会主催者及び参加者									
义的自动	(意図) どういう状態	意図) 大会経費の一部を補助することにより,円滑な大会運営を支援する。									
対象事業等の内容							役員, 交通整 性化に大きく			00人が関わ	
積算方法							を補助金とし めた予算の〔			額は大会	
	① 交付団	① 交付団体数 単位:団体 ② 大会参加者数 単							単位:人		
事業量指標と過去5年間	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	
の実績		1			1		1206			1259	
******	1				単位:					単位:	
成果指標と過去5年間の	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	
実績											

2収支状況等 単位:千円

	'/- '/	人沉寺					単位:十円
			平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
		前年度繰越	7,824			5,776	
補	収	市補助金	500			500	
助	入	負担金•補助金	47,732			41,432	
象	内	協賛金•広告料	30,625			25.700	
事	訳	参加料	7,125			8,129	
補助対象事業等		その他	1,957			16,268	
ずの	収入	、合計	95,763	0	0	97,805	0
収	市補	前助率(%)	0.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	0.5%	#DIV/0!
支状況	支出	合計	87,938			97,805	
況		うち食糧費、交際費	385			395	
	次年	度繰越	7824			0	
	一般	財源	500			500	
	特定	財源					
車	Y	一一 人工	0.1			0.1	
市負担額	件費	正職員金額	734			718	
額	費	臨時•嘱託					
	その	他事務費					
	合計	+	1,234	0	0	1,218	0
受益	益対	象者数	1,206			1,259	
補助金単位コスト(単位:円)		単位コスト(単位:円)	1,023	#DIV/0!	#DIV/0!	967	#DIV/0!
海			◆会計処理が適正 ◆事業	美内容等と補助目的と整合	性有 ◇決算における繰起	建金(剰余金)が補助額から	判断し, 妥当
			会計処理については、会言 ている。また、事業内容と		り, 総会時において必要な	会計検査を受けているこ	とから,適正に処理され

21	田	밊	T百	に対する評	価

J	固別項目に対する計 項目	↑Ⅲ ┃ チェック項目	→ 評価
	7, 1	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	<u> </u>
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	 □ 概ね合致する
		◆ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
補	(3)補助率の参考	♦ 個人 1/3以内	
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交付		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準と		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
۲	(4)見直し期間		い(対象外)
の c			■ 同一団体補助だが、見直し設定し
適合性			ていない
行本			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
Ί±			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)		□ 合致しない
			│□ 合致する │ (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	
	書類の添付	◆ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	┃■ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致しない
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
2/	1 → 4 deL	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている◇総合計画の重点施策の推進に寄与している◇民営化,自立化の余地がない	■ 公金注が高い
21	公益性		
		◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
		◇設定した事業量指標が上向いている◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	┃■ 必要性が高い
3 /	必要性	◆補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない ◇厳しい財政状況の中、他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
-	,		- ツ亜性が <u>与いし</u> はラニナル
		◇上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
43	効果	◇対象者が増加するなど,時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
		◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由、及び「公益性」「効果」「必要性」において上記	チェック項目以外で評価すべき項目が
		あれば、記載し説明すること。	
54	その他	4 大会誘致の促進や競技団体との信頼関係に大きな効果があり、大会運営を支援する市の姿ます。 オーカルス はいまけん かった ないない スタス かます こうしょう ままれ ちゅうしょう かんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しゅうしゅう	そ勢を示す上で重要である。
υ,		また旭川市はメイン宿泊地のして経済効果も高いことから重要な施策である。 	
		A	

4平成24年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

補 助 金 名 称(当 時)	ツール・ド・北海道国際大会開催補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	継続事業ではないため、必要の都度予算措置を行う。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(4 - 4 - 5 - 1	

(その他の見直し)

1	(1)見直しの年度	具体的な内容と効果
	(17元世の第一次	X PTH J OF J I C WAX

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題
解決に向けた取組

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	終了	継続事業ではないため、必要の都度予算措置を行う。
2次評価	終了	_

1補助金の概要

補 助 金 名 称	第68回秋季北海道高等	学校野球大	会北海道プ	会補助金					
補助金の性格	運営費補助					始期	H27	終期	_
予 算 事 業 名	体育振興費	育振興費 (事業⊐ード新/旧) 05−32−02−01/02−12−09							
所 管 部 署	市民生活 部	ス	ポーツ 課		スポーツ扱	長興 係	電話番号	内線	₹6333
交付先(団体,個人等)	一般財団法人 北海道	高等学校野 ^玩	球連盟旭川	支部					
交付目的	(対象) 誰, 何に対して								
X 10 G 110	(意図) どういう状態にしたい	大会経費の	一部を負担	することによ	59, 円滑な	大会運営	を支援する。		
対象事業等の内容	全道10支部から17校 られる。	が参加する高	系校野球の 3	全道大会, 優	憂勝チームは	は翌年の遺	選抜大会(全	(国大会)の	出場権が与え
積算方法	全道10支部17校500名以上が参加する大規模な大会であり、関係者以外にも報道機関や市民にも関心が高い大会である。旭川市体育関係団体等に対する補助金交付要綱の中で補助対象経費の1/2以内で、収支金額を精査した大会運営に必要最小限の収入及び支出であるため。								
	① 交付団体数			単位:団体	② 大会参	加者数			単位:人
事業量指標と過去5年間 の実績	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
の夫棋				1					500
	1			単位:	2		-	•	単位:
成果指標と過去5年間の	H23 H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
実績									

2収支状況等 単位:千円

2収支	仄 况寺		単位:十円			
		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)
	前年度繰越					
補収	市補助金				300	
助人	新聞社助成金				25	
象内	受益者負担分				2,052	
事訳	事業収入				4,306	
相助対象事業等	その他					
の収り	合計	0	0	0	6,683	0
収 市神 支出	輔助率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	4.5%	#DIV/0!
文大大	出合計				6,683	
況	うち食糧費、交際費				618	
次年	F度繰越				0	
一舟	设財源				300	
特定	官財源					
克人	正職員 人工				0.1	
負担額	金額				718	
額置	臨時•嘱託					
	D他事務費					
合計	†	0	0	0	1,018	0
受益対	象者数				500	
補助金	単位コスト(単位:円)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	2,036	#DIV/0!
					基金(剰余金)が補助額から	
適格性		会計処理については,実終また,事業内容と補助目的	責報告時に支出証拠書類の 対は整合している。	の提出があり、書類原本等	を確認の上, 適正と判断し	している。
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1				

3	佃	뫼	ा	日	に対する評値	邢

	■別項目に対する計 項目	チェック項目 ー	→ 評価
ı	次口		<u> </u>
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交付		◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◆ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準と		◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
ے	(4)見直し期間		い(対象外)
の			□ 同一団体補助だが、見直し設定し
適合性			ていない
性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
1-			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外 ◆ 実績報告時.支出証拠書類提出有	□ 合致しない ■ 合致する
		▼ 美頼報告時, 文出証拠書類提出有★ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	■ 言致 9 る (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	▼ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や文田証拠者類原本, 帳牌等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	□ 1941 4 □ X 7 °O
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている	■ 公益性が高い
24	公益性	▼个行足多数の印氏に直接*间接的に効果が17さわだっている ◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化、自立化の余地がない	
2 -	X 1111 111	◇上記以外	┃ □ 公益性が高いとは言えない
		◇上記以外◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高いとは言えない
		◇設定した事業重指標が上向いている ◇廃止・稲小すると市民生活に大さな影響を及ばす ◇補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	■ 必安はが同い
3业	必要性	◇ 備め事業に類似したり一と人等と提供する団体等がない。 ◇厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
		◆上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		▼ 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	■ 効果が高い
4効果		◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇	■ 別木81回0:
43	1未	◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない
		. — — — — —	
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記 あれば、記載し説明すること。	ナエツク項日以外で評価9へさ頃日か
		3.4	_
53	その他	-3, + 全道10支部17校500名以上が参加する大規模な大会であり, 関係者以外にも報道機関や1	市民にも関心が高い大会である。
		大会誘致に対する市の姿勢を示す上で、重要な施策である。	

4平成24年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

(1)以計画/	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
(1)見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題 解決に向けた取組

6全体的評価

評価	結果	理由、改善・見直しの方向			
1次評価	終了 継続事業ではないため、必要の都度予算措置を行う。				
2次評価	終了				

1補助金の概要

補 助 金 名 称	高松宮賜杯第59回全日本軟式野球大会1部補助金							
補助金の性格	軍営費補助 H27 終期 −						_	
予 算 事 業 名	体育振興費				(事業コード新	/旧)	053202/0	21209
所 管 部 署	市民生活 部	スポー	ソ課	スポーツ扱	長興 係 電	話番号	内線	6333
交付先(団体,個人等)	高松宮掲賜杯第59回会	高松宮掲賜杯第59回全日本軟式野球大会1部旭川大会実行委員会						
交付目的	(対象) 誰, 何に対して 大会主催者及び参加者							
Z N G W J	(意図) どういう状態にしたい	大会経費の一部	を負担することに。	より, 円滑な	大会運営を	支援する。		
対象事業等の内容	全国9ブロックから選抜	された32チームに	こよって行われる፤	軟式野球の含	全国大会			
積算方法	全国から約1,300名(与されるため旭川市体							
	① 交付団体数		単位:団体	② 大会参	加者数			単位:人
事業量指標と過去5年間 の実績	H23 H24	H25 H:	26 H27	H23	H24	H25	H26	H27
の夫棋			1					1300
+ m + l = 1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	1		単位:	2				単位:
成果指標と過去5年間の 実績	H23 H24	H25 H:	26 H27	H23	H24	H25	H26	H27
大限								

2収支状況等 単位:千円

2収支	仄 况寺					単位∶十円	
		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(決見)	平成28年度(予算)	
	全日本助成金				6,000		
補収	受益者負担分				4,500		
助人	事業収入				2,245		
象内	市補助金				1,000		
事訳	道補助金				2,600		
助対象事業等	その他				1,115		
の収え	人合計	0	0	0	17,460	0	
収市ネ	甫助率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	25.8%	#DIV/0!	
収 市社 支出	出合計				17,460		
況	うち食糧費、交際費				2907		
次年	丰度繰越				0		
— 舟	设財源				1,000		
特只	定財源						
東人	正職員				0.1		
負担額	金額				718		
額費	臨時•嘱託						
そ0	D他事務費						
合言	†	0	0	0	1,718	0	
受益対象者数					1,300		
補助金.	単位コスト(単位:円)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1,322	#DIV/0!	
適格性		◆会計処理が適正 ◆事業内容等と補助目的と整合性有 ◇決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し、妥当					
		会計処理については,実終また,事業内容と補助目的	責報告時に支出証拠書類(対は整合している。	の提出があり、書類原本等	を確認の上,適正と判断し	ている。	
	ソール弗/丁映号ハンけずけ04左右20447円。 東岸05左右2027円。東岸05左右20247円。東岸07左右21007円。東岸00左右21007円で						

つ個	민	T百		に対す	Z	、重亚.	柵
'DILLO	וית	14	\mathbf{H}	ו באו ש	~ ·	1=+	1111

31	固別項目に対する評		
	項目	チェック項目	→ 評価
		◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1/万) 水性县	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等,原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1.113	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助金交付基		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
		◆ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準との	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外)
の海			□ 同一団体補助だが、見直し設定し
心合			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定 していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	┃ ◇ 美領報告時、青頬人重じ、抽出傩認や美地調査寺で添付に省えている。	□ 概ね合致する
	目 次 4 2 / / / / /]	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
21/2	公益性	◆不特定多数の市民に直接・間接的に効果が行きわたっている ◇総合計画の重点施策の推進に寄与している ◇民営化,自立化の余地がない	■ 公益性が高い
		 ◇上記以外	□ 公益性が高いとは言えない
		◇設定した事業量指標が上向いている ◇廃止・縮小すると市民生活に大きな影響を及ぼす	■ 必要性が高い
_ ,	S LuL	◇ 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない	
34	必要性	◇厳しい財政状況の中,他の事業と比較しても優先的に進めていくべき施策である	
		◆上記以外	□ 必要性が高いとは言えない
		◇設定した成果指標が上向いている ◇市民アンケート等, 客観的な評価を得ている	■ 効果が高い
4効果		◇対象者が増加するなど,時代のニーズを捉えている ◇費用対効果が大きい	
		◆上記以外	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由,及び「公益性」「効果」「必要性」において上記あれば、記載し説明すること。	チェック項目以外で評価すべき項目が
_ ,	2 ~ //-	3, 4	
54	その他	大会誘致の促進や競技団体との信頼関係に大きな効果があり、大会運営を支援する市の姿勢	身を示す上で重要である。
		選手を含めた大会関係者の宿泊等の経済効果も高く、必要性のある事業である。	

4平成24年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

6全体的評価

評 価	結果	理由、改善・見直しの方向				
1次評価	終了	継続事業ではないため、必要の都度予算措置を行う。				
2次評価	終了	_				

具体的な内容と効果